

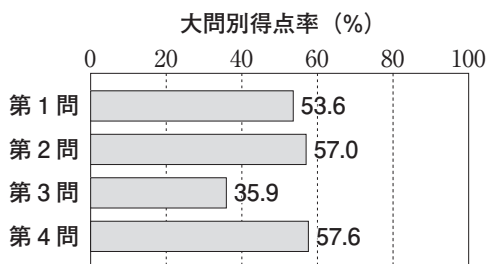
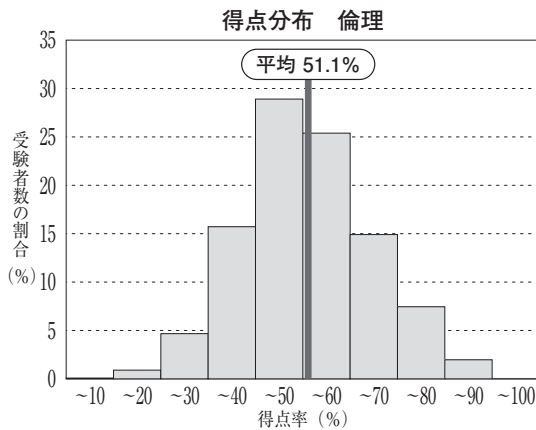
倫 理

スパートをかけ、準備を万全にし、自信をもって試験会場に向かおう。

I. 全体講評

今回の「最終12月センター試験本番レベル模試 倫理」の平均点は、51.1点であった。今回の平均点は2月に実施した第1回の平均点と比べて10点も上昇していない。これは、例年に比べて厳しい結果であり、受験者の努力がまだまだ足りないことを示していると言えよう。

合格を確実にその手につかむためには、最後のもう一伸び、二伸びがほしい。知識が不足していた、理解が不正確だった、文の読み違いなどのケアレスミスをしてしまった、などという言い訳をするのは、今回の模試で終わりにするということが大切である。センター試験本番ではこのような理由で得点を絶対に落とさないために、十分に反省・復習してほしい。



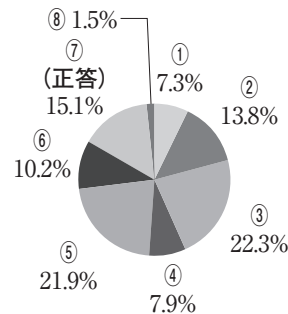
II. 大問別分析

第1問 青年期・現代社会分野

一つ一つ積み重ねるしかない。

第1問の得点率は53.6%。難易度の低い問3 [3]と問5 [5]以外の正答率が低かったのがこのような結果につながった。特に問4 [4]は26.1%、問8 [8]に至っては15.1%で、得点率を大きく引き下げた。資料文読解問題の問4 [4]は現代思想らしい難解な文章であるが、一文一文丹念に追って、文意を把握したい。資料文読解は解答に時間がかかることが多いので、後回しにするのも有効である。

問8 [8] 各選択肢の選択率



※注) 無回答・マークミスは割愛したため、選択率の合計は100%にならないことがある。

センター試験ではマイナーな範疇に属する思想家であり、8択という形式もあって極端に正答率が低かった。受験者の解答の選択を見ると、アとイの正誤判断で、それぞれ半数以上が誤っている。アとイにはともに決定的に誤っている語句または文章が含まれている。これを見つけれないのは、明らかに学習量の不足のためである。残り時間は少ないが、一つずつ知識を増やしてほしい。

第2問 源流思想分野

理解や知識の定着をより高い水準に。

第2問の得点率は57.0%。問4 [14]と問5 [15]以外の正答率はそれほど良好ではなかった。ただし、

知識を問う問題では正答の選択肢の選択率を誤りの選択肢の選択率が上回っているものはなかったもので、源流思想分野の理解は進みつつあると言える。学習を積み重ね、知識を定着させてほしい。なお、問8 [18]は朱子学と陽明学についての出題であるが、正答率は45.0%であった。この二つの学派について、迷いなく区別できるようにしておこう。本文読解である問9 [19]の正答率が26.9%であったことも大きい。丁寧に読み込めば必ず正解できるので、確実に解答できるようにしておきたい。

第3問 日本思想分野

日本思想分野の学習量が圧倒的に足りない。

第3問の得点率は35.9%。この時期に出す数値では決してない。際立って正答率が高い問題は一つもなく、実に9問中6問が正答率40%未満であった。問1 [20]の正答率は31.2%。二宮尊徳について述べたイを正文と判断した受験者が40%以上いるのは非常に嘆かわしい。安藤昌益の思想は法世を批判するという極めて明確なものなので、必ず概要を把握しておくこと。また、問4 [23]では半数近くの受験者が誤答の③を選んでいて、これは、「純粹経験」という言葉だけを記憶し、内容まで理解していなかったと考えられる。この時期はむやみに新しい問題集に手を出すのではなく、教科書に立ち返り、その記述をじっくりと読み込むべきだろう。また、センター試験の倫理では各大問の最後の問いに本文読解問題が出題されるが、問9 [28]の正答率は41.1%と振るわなかった。選択肢を一つ一つ丹念に本文と比較し、正誤判断をしよう。

第4問 西洋近現代思想分野

西洋近現代思想は最大・最後の山場。生半かな知識では太刀打ちできない。

第4問の得点率は57.6%。知識不要の問3 [31]と問8 [36]を除き、正答率は低迷した。問2 [30]を見ると、②または③を選択した受験者が半数近くに上っている。②も③も明らかに他の思想家だと分かる用語が含まれている。いかにも近代思想らしい文章だから選択したのだろうか。学習量の不足を痛切に感じる。誤った受験者は直ちに教科書の西洋近現代思想の章を読み直してほしい。なお、問6 [34]の空欄aの選択肢に「原初状態」があり、30%以上の受験者がこれを選択しているが、これはロールズ

に関する細かい事項なので、解説を読んで覚えておこう。

Ⅲ. 学習アドバイス

◆何をすべきか、優先順位を見極めよう。

センター試験本番まで残りわずかであるが、この時期は大一番を控えて最も集中力が高まっている時期でもある。これまでできなかったことも、今ならできる。大切なのは、明確で具体的な目標を立てることである。模試の結果を冷静に受け止めて、何をすべきか、その優先順位を定めよう。全力でラストスパートをかけた受験生が本番で驚くほど素晴らしい結果を出す例は、枚挙にいとまがない。まだまだ伸びると信じて頑張してほしい。

◆センター試験本番に向けて。

試験開始直後は、気をはやるのを抑えて、まず問題数の変更の有無など、前年度からの大きな変更点がないかを確認しよう。これはとても重要な作業である。同じならば安心して解き始め、変わっていた場合はそれを心に留めておく。それだけで、時間がなくなったところで変更気づき、パニックに陥るということを防げる。ケアレスミスは、心が動揺している時に生じやすい。まずは落ち着いて倫理の問題全体を見てほしい。諸君の健闘を祈っている。